

韓日友好と領土問題

～真実の歴史を見つめ直す～

日 時： 2018年10月27日(土) 14:00～16:30
(開場 13:30)

会 場： 大阪韓国教育院「나눔터」

大阪市北区中崎2-4-2 韓国民団大阪本部 1F
(地下鉄谷町線「中崎町」駅2番出口から徒歩3分)

参加費： 500円(会員無料)



主催挨拶

趙 吉夫 「竹島の日」を考え直す会 代表

連帯挨拶

李 相模 韓国慶尚北道 独島財団 代表理事

講 演

独島＝竹島の領有をめぐる真実の歴史

- ◇「太政官指令」(1877年)
- ◇「大韓帝国勅令41号」(1900年)
- ◇「島根県編入」(1905年、日露戦争時のリヤンクールロックの強奪)

講師：久保井規夫 歴史学名誉博士 「竹島の日」を考え直す会 理事長

質疑討論

日本 外務省の「竹島問題10のポイント」をめぐって
チユーター

黒田 伊彦 元大阪樟蔭女子大学教員 「竹島の日」を考え直す会 副代表

主催：「竹島の日」を考え直す会

八尾市志紀町3丁目30番地(八尾韓国人会館内)072-949-1521

竹島(独島)は「日本固有の領土」論を批判する —「明治150年と領土問題」集会の報告より

黒田伊彦（「竹島の日」を考え直す会・副代表）

1. 韓国中学生の日本の竹島学習批判の手紙

2017年5月、島根県の中学校56校に韓国全羅南道の咸平中学校3年生の3人連名の、日本の竹島学習批判の手紙が送られてきた。

竹島は日本の呼称で、韓国名は独島である。文面の概要は、①小中学校の学習指導要領では、日本政府は独島を日本固有の領土だと表記し、間違った事実を教えている。②独島は、わたしたちにとって心傷む歴史の土地で、日本が朝鮮半島を侵略する過程で最初に奪い取られた土地である。すなわち日本帝国主義が露日戦争（日露戦争）中に、戦争遂行を目的に編入し、一番最初に占領したのが独島である。③日本が独島に対する権利を主張することは、日本帝国主義の植民地への権利の主張であり、韓国の独立を否定する行為である。④日本政府は近代以前にも独島は日本の領土だと主張しているが、近代以前の多くの文書と地図では、日本政府が発刊した文書や地図でさえ、独島が韓國領土であることを示している。⑤先生方は日本の生徒たちに正しい歴史を教えて頂き、韓国と日本の未来の世代である生徒たちが正しい歴史を学ぶことで、両国間の不幸な歴史を清算し、相互協力の明るい未来を開いていくことを希望している。
というものである。

2. 島根県教委は無回答、学校での破棄、返送を指示。

上記の韓国中学生の手紙に対し、島根県教育委員会は、「回答を行わない」「各市町村教育委員会は各学校に、①国や島根県の方針（注：竹島は日本の固有の領土）に基づき学習を行う」「次のような対応を学校の判断で実施する。・各学校で処分・返送する・学校で保管・市町村教育委員会に集約・内容の誤りを明らかにし授業で活用・内容の誤りについて反論する」等の指示を文書伝達をした。

県教育委員会が回答せず黙殺するという以上、各学校では無視し、処分すなわち廃棄するか保管するのが大勢になるのは必至である。

誠実な条理をつくした要請に対し、このような不誠実な対応を行うことは、教育的とはいえない。「教えるとは希望を語ること、学ぶとは誠実を胸に刻むこと」（ルイ・アラゴン）であるべきである。

3. 日本の教科書が書かない竹島・独島が朝鮮領であった日本の史料

江戸時代現在の鬱陵島は竹島、竹島（独島）は松島と日本では呼ばれていた。

①1693（元禄6）年に鬱陵島（竹島）より、安龍福、朴於屯の2名を米子の商人が拉致してきたことの報告を受けた幕府は、鳥取藩に対し質問状を出した。「因州伯州へ付けている竹島はいつから両国に附属する事になったのか」「竹島の外に因伯両国に附属する島はあるか」の問い合わせに対し、「竹島は因幡伯耆の附属ではありません」「竹嶋松嶋其外両国の島はない」と返答

した。松島すなわち現在の竹島は鳥取藩領でない。それは日本領でない事を明言したのである（元禄竹島一件より）。

②1785年の林子平の「三国接壤地図」では日本領は緑色、竹島と松島は朝鮮と同じ黄色に着色され「朝鮮ノ持也」と記されている。

③1836（天保7）年の会津屋八右衛門を通しての浜田藩の竹島を介しての朝鮮との密貿易への処断の天保竹島一件でも、全国に高札で「異国渡海禁止」を衆知させた。

④明治政府への島根県の「日本海内竹島外一島地籍編纂方策」に対する1877（明治10）年の太政官指令としての回答は「竹島外一島之儀、本邦關係無之儀ト可相心得事」であった。外一島は島根県の伺書の付図に松島が描かれ、同付属文書乙28号に「次二一島アリ松島ト呼フ」とある事から、松島すなわち現在の竹島は朝鮮領であった。

⑤1904（明治37）年の軍艦新高の行動日誌に松島すなわちリアンクール島を「韓人之を独島と書し、本邦漁夫等略してリアンコ島と称せり」とある。

⑥1904年2月8日、日露戦争を起こした日本は2月27日に大韓帝国に迫って日韓議定書を結ばせ、軍略上必要な地点の収用権を認めさせた。10月15日、ロシアのバルチック艦隊がバルト海のラトビアを出航した後、1905年1月28日日本海海戦に備えての望楼と通信所建設の目的でリアンクール岩の日本への編入を閣議決定し、2月22日に島根県に「竹島」として編入した。5月27日対馬沖海戦、5月28日竹島沖海戦が行われ、日本連合艦隊の勝利に期した。望楼が建設されたのは1905年8月19日であった。

強奪の手口は、①統治者が不明の土地は先に占領した者の所有となる「無主地先占論」の帝国主義の侵略の論理であり、蝦夷地の北海道としての編入にも適用された。②領土分割等の戦争終結の条約締結前に編入し、条約の論議案件にしないという方式である。日清戦争時、1895年4月17日の下関条約調印以前の1月14日に魚釣島等尖閣諸島を沖縄に編入し。竹島も1910年8月22日の韓国併合前に強奪しているのである。

4. 政府の「領土・主権展示館」の日本固有の領土論の意図

政府は日比谷の市政会館地下に「領土・主権展示館」を今年1月に開設した。竹島問題は李承晚ラインによる韓国の不法占拠を強調し、無料でパンフレットを配布している。一日約30人の参観者があるという。アンケートに答えた人に「じゆうちょう」というノートを渡している。その1頁目は「『★』をなぞって線を引くと『排他的経済水域』がうかんでくるよ！」と日本列島と近海の地図が書かれている。そして「排他的経済水域とは、漁業をしたり石油などの天然資源を掘ったり、科学的な調査を行ったりという行動を、他の国に邪魔されずに自由に行うことができる水域です」と説明されている。

「衣の下の鎧」の如く領土教育とは愛国ナショナリズムで敵愾心を煽り、領土拡張の侵略主義正当化であること物語っているといえる。